教育委員会１月定例会　会議録

１　開催日時　　令和８年　１月　８日（木）　午後４時15分から午後４時45分まで

２　場　　所　　教育委員会室

３　出席委員

教　育　長	丸　山	陽　一
同職務代理者	北　澤	嘉　孝
委　　員	鷲　澤	幸　一
委　　員	山　口	美　和
委　　員	田　中	亜希子

４　説明のために会議に出席した者

教育次長	前　島	卓
教育次長	唐　木	英　俊
教育次長副任兼 総務課長	北　原	孝
学校教育課長	佐久間	清　也
保健給食課長	山　口	恭　司
家庭・地域学びの課長	藤　原	慶　治
学校支援官	酒　井	好　和
主幹兼 総務課長補佐	穂　川	さゆり

５　書　　記

総務課 庶務担当係長	児　島	真　季

丸山教育長が開会を宣した。

＜教育長あいさつ＞

新年明けましておめでとうございます。委員の皆様におかれましては、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

近藤委員の任期満了に伴い、後任として新たに北澤委員が昨年12月25日付けで就任された。また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第２項の規定により、令和７年12月25日付けで北澤委員を教育長職務代理者に指名しましたので、御報告申し上げる。北澤教育長職務代理者には、未来を担う子どもたちのため、本市の教育行政に対して御支援賜りますようお願い申し上げる。

（北澤教育長職務代理者が挨拶した。）

今年の年末年始は９連休ということで長期の休暇となったが、皆様におかれましてはゆっくりと過ごされ、輝かしい新年をお迎えされたことと思う。市内小・中学校は本日８日をピークに始業式が行われ、３学期がいよいよスタートした。以前も申し上げたが、３学期は各学年のまとめ、中学校３年生は受験シーズンを迎え、より一層大切な時間となる。まだインフルエンザは流行していないようだが、これから学校が始まれば、気を付けていかなければならない。元気で過ごせるよう取り組んでまいりたい。

今年は、令和９年度からの「第四次長野市教育振興基本計画」の策定が始まる。１月15日に第１回目の策定委員会で諮問をして、そこから開始していくことになる。現在、国では次期学習指導要領を検討しているので、その方向性や教育ＤＸなどを見通した検討が重要であると考えている。加えて、４月から小学校の給食費無償化が実施される。また、公会計化も始まるので、教育委員会にとってもこの１年は非常に大事な年になると思っている。

教育支援センターSaSaLANDについては、この４月から３年目に突入する。昨年12月末現在で登録者数は237人、12月の１日平均通所者は52.4人とそれぞれ過去最高となっており、我々としても安心できる居場所として、さらに充実した施設を目指すとともに、校内教育支援センターやアウトリーチ支援により一層力を入れていきたい。

結びに、今年も皆様にとって明るく希望に満ちた実り多き年になるよう御祈念申し上げ、挨拶とさせていただく。

・委員異動に伴う事務局職員の自己紹介

＜協議事項＞

協議１号「令和９年度長野市立長野中学校入学者選抜の実施日程（案）について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

佐久間学校教育課長が説明した。

・本日御承認をいただいた後、速やかに市のホームページに掲載、市内小学校へ通知し周知する。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

＜一般行政報告＞

報告１号「市議会12月定例会で論議された主な政策課題等について」

報告２号「令和７年度教育費補正予算について」

報告３号「長野市立芹田公民館の指定管理者の指定について」
　これら３つについて関連のある事柄であるため、丸山教育長が合わせて事務局に説明を求めた。

報告１号「市議会12月定例会で論議された主な政策課題等について」
　前島教育次長が主なものを中心に説明した。
・小中学校における学校徴収金に関するルールの必要性について
・不登校児童・生徒への支援について
・部活動の地域展開について
・令和６年度児童生徒の問題行動、不登校等に係る調査の結果について
・学校現場における「長野市子どもの権利条例」について
・教職員の働き方改革について
・長野市の学校教育について
・全庁的な熊対策について
・不登校の子どもの保護者サポートについて
・学校施設の環境整備について
・学校給食費の公会計化と学校徴収金の一括徴収について
・学校給食費の無償化について

報告２号「令和７年度教育費補正予算について」
　前島教育次長が説明した。
・歳出は、人事異動等に伴う人件費を調整するために提出したものだが、保健体育費については、学校給食用の米の価格が大幅に上昇した分を公費で負担するため増額したものが含まれる。
・繰越明許費補正のうち、豊野公民館跡地駐車場整備事業は、地下雨水貯留施設工事のために行った掘削で予想以上の湧水があり、その排水対応により整備工事の着手が遅れることになったため、令和８年度に繰り越すもの
・芋井総合市民センター建設事業（公民館分）は、現在行っている建築工事と並行して、外構工事と外構の電気設備を実施する予定であったが、十分な作業スペースを確保できないことが判明したため、工事の時期をずらして着手せざるを得ないということで、所要額を令和８年度に繰り越すもの
・債務負担行為補正のうち、ノルテながのエレベーター更新事業費（公民館分）は、この施設に入居している吉田支所、保健センター等で費用を按分して実施するもので、エレベーター自体が受注生産によって工期が１年に収まらないことから設定するもの
・朝陽小学校校地拡張事業費は、平成26年度から継続して実施している学校の周辺道路及びグラウンド整備を含む造成工事のもの
・第二学校給食センター連続焼物器ほか更新事業費は、連続焼物器と、空調設備に係わる中央監視装置の修繕工事を実施するもので、機器の製造と調整に４か月要し、新年度からの着手では夏休み中に工事ができないことから、前もって契約を提携するために、今年度の補正とするもの
・指定管理による長野市立芹田公民館管理運営事業費については、芹田公民館を令和８年度から５年間、指定管理者により運営するための協定を芹田地区住民自治協議会と結ぶためのもの

報告３号「長野市立芹田公民館の指定管理者の指定について」

藤原家庭・地域学びの課長が説明した。

・昨年12月市議会にて可決していただいたもの
・指定団体を非公募とした理由は、「公募によらない指定管理者選定に関する指針」の中で、「合理的な理由がある場合」の「(1)地域コミュニティの醸成、市民活動の促進や施設の有効活用等を図るために、地域の住民や施設利用者等により構成される団体が管理運営することが適当であると認められる場合」を適用したもの
・選定に当たり優れていた点は、引き続き利用者の立場に立った丁寧な対応が期待できること、協議会の各部会や地域公民館などとの連携と情報共有が円滑であること、すでに多様な地域団体や学校との連携事業の実績があり、これらの継続と拡充が期待できることなどである。

＜その他＞

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北原教育次長副任兼総務課長）

主催事業０件、共催事業１件、後援事業25件（賞状交付１件）

次回以降の日程確認（北原教育次長副任兼総務課長）

２月定例会　１月27日（火）午後３時　　教育委員会室
３月定例会　２月24日（火）午後３時　　教育委員会室

丸山教育長が閉会を宣した。

令和　　年　　月　　日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員